



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 森六ホールディングス株式会社

コード番号 4249 URL <http://www.moriroku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 栗田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 下迫 俊司 TEL 03 (3403) 6102

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	112,164	△12.4	4,093	15.0	3,491	△3.2	734	△64.5
2020年3月期第3四半期	127,996	△10.8	3,558	△46.3	3,604	△47.9	2,070	△61.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,814百万円 (68.3%) 2020年3月期第3四半期 1,672百万円 (△32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	44.30	—
2020年3月期第3四半期	125.06	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	129,576	68,222	51.7
2020年3月期	122,493	66,467	53.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 66,945百万円 2020年3月期 65,229百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	51.00	—	43.00	94.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	154,000	△9.8	5,300	△3.6	4,900	△13.6	1,100	△68.8	66.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	16,960,000株	2020年3月期	16,960,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	388,628株	2020年3月期	391,585株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	16,570,161株	2020年3月期3Q	16,558,587株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主な事業領域である自動車業界では、通年でのグローバル需要は前年に比べて落ち込んだものの、中国や北米など主要市場における需要の回復が進みました。また、化学品の販売価格形成の基準となるナフサ価格も、中国の石化需要を背景に上昇基調で推移しました。その一方、足元では各国の新型コロナウイルス感染症の再拡大や世界的な半導体不足の影響が懸念されています。

このような事業環境のもと、当社グループは、従業員の安全と事業の継続を最優先し、テレワークをはじめとする感染防止策を講じながら操業を継続してまいりました。また、需要変動に応じた最適生産体制の維持や次世代自動車に向けた研究開発への取り組みを継続するとともに、工程改善による原価低減や経費抑制等の収益改善施策を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は112,164百万円（前年同期比12.4%減）、営業利益は4,093百万円（同15.0%増）、経常利益は3,491百万円（同3.2%減）となりました。また、工場の操業・営業休止期間中の固定費（人件費・減価償却費等）および当感染症に対処するために直接要した費用総額2,225百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は734百万円（同64.5%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ①樹脂加工製品事業

樹脂加工製品事業においては、第1四半期の工場操業停止影響はありますが、中国で主要顧客の生産台数が前年を上回って好調に推移し、北米や日本、タイなどでも堅調に需要が回復しました。その一方、新型コロナウイルスの感染収束が遅れるインドネシア等では回復の長期化がみられました。利益面では、北米を中心に生産工程改善などの原価低減、人件費抑制、経費削減等が進んだ結果、収益性が向上しました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は67,309百万円（前年同期比15.8%減）、営業利益は3,362百万円（同16.0%増）となりました。

#### ②ケミカル事業

ケミカル事業においては、上期の減収影響はありますが、第3四半期以降、中国に加えて国内や東南アジアでも需要の回復がみられ、モビリティ、コーティング、ファインケミカル等の分野で販売数量が緩やかに回復しました。利益面では、中国広州や国内向けの販売好調による増益があった一方、四国化工㈱では高機能フィルムの新工場の稼働により減価償却費が増加しました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は44,855百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は855百万円（同2.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は64,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,388百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が5,793百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は65,563百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,694百万円増加しました。これは主に、株価上昇により投資有価証券が3,317百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、総資産は129,576百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,082百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は49,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,334百万円増加しました。これは主に、短期借入金が2,837百万円、支払手形及び買掛金が2,380百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定負債は12,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ992百万円増加しました。これは主に繰延税金負債が980百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、負債合計は61,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,327百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は68,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,754百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が2,588百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年12月15日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,681	17,474
受取手形及び売掛金	31,097	31,482
商品及び製品	5,297	5,502
仕掛品	2,568	2,250
原材料及び貯蔵品	3,586	3,803
その他	4,406	3,510
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	58,624	64,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,120	18,716
機械装置及び運搬具（純額）	10,517	9,956
工具、器具及び備品（純額）	5,524	5,097
土地	5,384	5,062
リース資産（純額）	148	131
建設仮勘定	7,851	5,967
有形固定資産合計	46,546	44,931
無形固定資産		
1,004		920
投資その他の資産		
投資有価証券	14,186	17,504
長期貸付金	268	230
繰延税金資産	1,153	1,313
その他	736	667
貸倒引当金	△26	△3
投資その他の資産合計	16,318	19,711
固定資産合計	63,869	65,563
資産合計	122,493	129,576

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,801	22,181
電子記録債務	2,242	2,787
短期借入金	12,776	15,614
1年内返済予定の長期借入金	2,620	1,744
リース債務	139	211
未払法人税等	616	566
その他	6,736	6,162
流動負債合計	44,933	49,268
固定負債		
長期借入金	5,007	4,935
リース債務	327	537
繰延税金負債	4,369	5,350
退職給付に係る負債	557	478
資産除去債務	168	169
その他	660	614
固定負債合計	11,092	12,085
負債合計	56,025	61,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	4,779	4,782
利益剰余金	54,307	53,997
自己株式	△239	△237
株主資本合計	60,487	60,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,393	7,982
為替換算調整勘定	△887	△1,444
退職給付に係る調整累計額	△69	△77
在外子会社のその他退職後給付調整額	304	302
その他の包括利益累計額合計	4,741	6,762
非支配株主持分	1,238	1,277
純資産合計	66,467	68,222
負債純資産合計	122,493	129,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	127,996	112,164
売上原価	112,617	98,216
売上総利益	15,379	13,948
販売費及び一般管理費	11,821	9,855
営業利益	3,558	4,093
営業外収益		
受取利息	106	96
受取配当金	381	330
その他	133	150
営業外収益合計	622	576
営業外費用		
支払利息	375	333
持分法による投資損失	43	26
為替差損	97	752
その他	59	66
営業外費用合計	575	1,178
経常利益	3,604	3,491
特別利益		
固定資産売却益	82	23
投資有価証券売却益	188	1,034
補助金収入	89	190
関係会社清算益	99	-
特別利益合計	459	1,248
特別損失		
固定資産売却損	16	5
固定資産除却損	29	6
投資有価証券売却損	3	-
減損損失	-	428
新型コロナウイルス感染症による損失	-	2,225
特別損失合計	49	2,666
税金等調整前四半期純利益	4,014	2,073
法人税等	1,866	1,279
四半期純利益	2,147	793
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,070	734



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,147	793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	569	2,588
為替換算調整勘定	△1,020	△558
退職給付に係る調整額	△12	△7
在外子会社のその他退職後給付調整額	△11	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△475	2,021
四半期包括利益	1,672	2,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,595	2,755
非支配株主に係る四半期包括利益	76	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	79,956	48,039	127,996	-	127,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	175	2,460	2,636	△2,636	-
計	80,132	50,499	130,632	△2,636	127,996
セグメント利益	2,898	875	3,774	△216	3,558

(注) 1. セグメント利益の調整額△216百万円には、セグメント間取引消去819百万円及び各報告セグメントに  
帰属しない当社の費用△1,035百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	樹脂加工製品 事業	ケミカル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,309	44,855	112,164	-	112,164
セグメント間の内部売上高 又は振替高	226	2,515	2,742	△2,742	-
計	67,536	47,370	114,906	△2,742	112,164
セグメント利益	3,362	855	4,217	△124	4,093

(注) 1. セグメント利益の調整額△124百万円には、セグメント間取引消去845百万円及び各報告セグメントに  
帰属しない当社の費用△969百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

「ケミカル事業」セグメントにおいて、固定資産に係る減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、428百万円であります。